

校内研修計画

甲州市立大和小学校

1 学校課題

大和地区は自然に恵まれており、周囲を山に囲まれた静かな地域である。地域の中央を高速道路が走り、幹線道路も交通量が増加し春や秋など観光客が多数訪れ、賑わいを見せる。大和町は武田家終焉の地としても知られており、多くの史跡が点在する古い歴史を持つ町である。

本校は、児童数が少ないため人間関係も固定されがちであり、多様な意見や価値観に触れる機会が少ない。決まったことや指示されたことに一生懸命に取り組むことはできるものの受け身になりがちで、自ら考え、主体的に取り組もうとする姿勢は十分だとは言えない。また、学校を離れ地域に帰ると、同年代がほとんどいない状態となる児童も多い。そのためか、人との関わり方や円滑なコミュニケーションがとれない児童も見られる。そこで、様々な機会を捉え、児童会の集会活動での縦割り活動や低中高学年の合同体育などを通して、人間関係を築く能力や社会性を育み、異年齢集団の中で友に助け合うことができる環境作りを進めている。

2 研究主題 「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」

～ 伝え合い交流する ～

3 主題設定の理由

本校では、各教科等において「伝え合い交流する」場面を設定し、言語活動の充実を図る中で、思考力や表現力の向上を目指し、研究を進めてきた。昨年度は、自分の考えや想いを伝えるだけでなく、相手の考えと比べ、関連した質問や意見を言うことで、自分の考えを深めるような「伝え合い交流する」活動を中心に研究を行った。日々の授業の中で「伝え合い交流する」ための手段を取り入れ、意識的に取り組み、授業形態の工夫やホワイトボードの効果的な活用などが行われ、児童も、意見交換を通じて共通点や相違点を考えながら学びを深めようとする活動ができるようになってきた。しかし、話し合いの仕方や相手にわかりやすく自分の考えを伝えること、意見を交流し学びを深めていくことにはまだ課題が見られる。

そこで今年度は、昨年度までの研究を継続し、自分の意見を相手にわかりやすく説明すること、話し合い活動の中で意見の類似点や相違点に気づき、意見をまとめたり深めたりする学び合う活動を中心に研究を進め、「学び合い高め合い意欲的に学ぶ児童の育成」につなげていきたい。

また、お互いに認め合い意欲的に学びあえる学習集団をつくるために2回のQ-Uアンケートの結果を分析し、児童理解を進めたが、それぞれの分析の結果を全体で共有する場を設けることができなかった。今年度もQ-Uの結果を活用しよりよい学級集団づくりにいかしていくとともに、全校の状況を把握し全職員が共通理解の下、児童の指導にあたる。学習規律に関しては、2回のアンケートを実施し、学習規律の中で定着が不十分であるところが明らかになったが、具体的な改善方法の提示まではできなかった。今年度はアンケートの取り方の工夫・改善等を行い、学習規律を定着させていきたい。

家庭と連携した学習環境作りとしては、自主学習のアンケートの実施、自主学習の強化週間の取り組み、自主学習ノートの見本の掲示等を行った。今年度は、学びの甲斐善八か条の取り組みを継続しながら、自主学習の内容や意欲など個人差への対応や取り組み方など、さらに研究を深めていきたい。

また、今年度は、コミュニティスクールと防災教育についての指定を受けている。コミュニティスクールや防災教育についての学習会等を行い理解を深めるとともに、学習活動や地域との関わりについてそれぞれの視点で見直し、取り組めるようにしていきたい。

年間校内研修計画

研究主任 新海 小緒里

研究テーマ	研修内容	教科	担当	学年	授業時期	T・C 要請
学び合い高め合い 意欲的に学ぶ児童の 育成 ～伝え合い交流する ～	今年度の研究計画		研主・部長		4月	
	部会の提案		部長		5月	
	K-13法				5月	
	理論研究		研究主任		6月	○
	Q-U調査の分析		研究主任		6月	
	伝え合い交流する ための手立て		研究主任		7月	
	保小の連携（大和 保育所の視察）		研主・部長		7月	
	教育課程還流報告 会・部会研究		各担当		8月	
	2学期の部会研究		部長		9月	
	研究授業・研究会	未定	飯室 美華	5年	10月	○
	K-13法		研究主任		11月	
	一人一実践	未定	授業者	各学年	9月～ 11月	
	研究のまとめ		研究主任		12月	
	本年度の成果と課題		研究主任		1月	
	来年度の研究について		研究主任		2月	
研究紀要作成				3月		